

令和3年度 性教育研修会 性に関する指導の取り組み

松戸市立馬橋北小学校

1. はじめに

松戸市は千葉県の北西部に位置し、江戸川を挟んで東京都に接しているため都心へのアクセスが良く、東京都市圏のベッドタウンとして発展してきている。近年、都市再開発も進み全国共働き子育てしやすい街第一位を獲得するなど、制度・施設が充実した街としてファミリー層を中心に支持を受けている。そのため、東京都内へ通勤している家庭や共働きの家庭が多く、新型コロナウイルス感染症による学校での対応も東京都の感染状況による影響を受けやすい。



2. 授業実践について

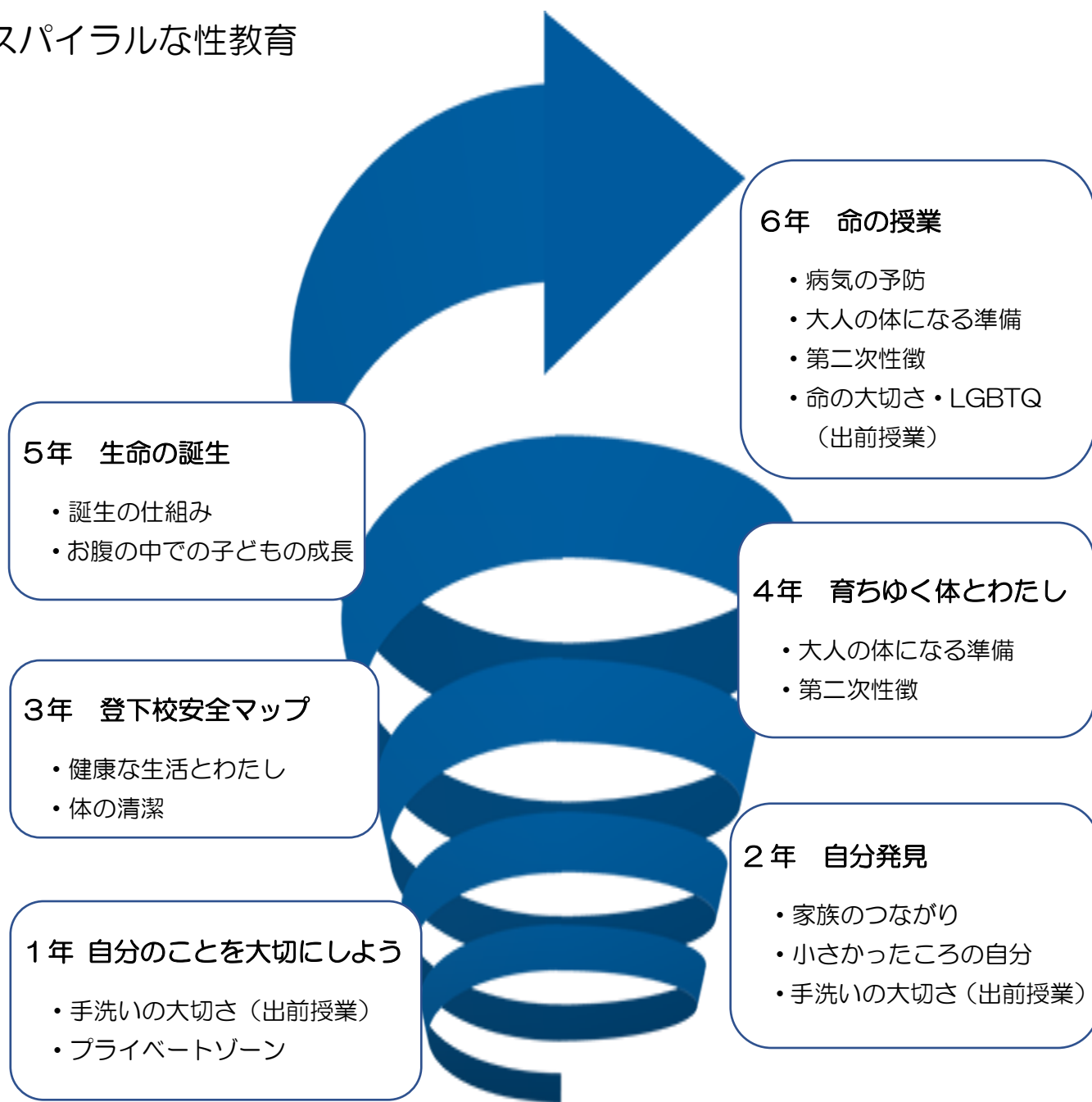
昨年度、新型コロナウイルスの世界的流行により、子ども達が教育活動に安心して取り組めるよう松戸市でも「学校における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン（現在 ver.8）」が作成され、毎日の健康観察や密を避けるなど教育活動における感染防止対策が示されるなど、今まで以上に手洗いや手指のアルコール消毒等の感染対策を行うようになった。

そこで自分のからだやこころのこと、生命の尊さを学び、自分の命を大切にするという意識を育て『自分の命は自分で守る』ことができる児童の育成を目標に性教育を保健分野だけでなく、他の教科との連携や感染症予防と関連付けながら授業実践を行った。

〈指導計画〉

学年	教科	内容	具体的な内容	その他
1年	学活	感染症予防	手洗いの大切さを知る まちっこプロジェクトによる講演	感染症予防について (マスクの着用など) ・正しい手洗いについて保健委員会が放送 ・まちっこプロジェクトによるDVD視聴
2年	生活	生活科 自分発見	自分の成長と命の尊さに気づく 「おへそのひみつ」	
3年	社会	登下校安全マップ	登下校コースの危険場所を知り、 危機管理能力を育む	
4年	保体	大人の体になる準備	二次性徴 自分の体のことを知る	
5年	理科	生命の誕生	生命の誕生について知る	
6年	学活 保体	病気の予防 エイズ・LGBTQ	ジュノ・ヴェスタ クリニック 八田真理子院長先生の講話	
特別支援学級	学活	自分の体を守る	プライベートゾーンについて知る	

スパイラルな性教育



3. 取り組みについて(実践内容)

- (1) 「自分の命は自分で守る」をテーマに保健の授業のみだけでなく道徳や他教科と関連させながら各学年の発達段階に合わせた授業実践を行った。
- (2) 1・2年生を対象に松戸市医師会が主催しているまちっこプロジェクトによる「感染症について」(主に正しい手洗いやマスクの着用について)の出前授業を行った。
- (3) 「命の大切さ」をテーマに性の多様性や自分の身体を大切にすることについてジュノ・ヴェスタ クリニック 八田真理子院長先生による講演会を実施した。
内容・感想は後述

4. 成果と課題

〈成果〉

○「性教育」として取り組んでいくのではなく、からだやこころのこと、生命の尊さを学び、自分の命を大切にするという意識を育て「自分の命は自分で守る」ことができる児童を目標にしたことで、子どもも教師も取り組みやすくなった。

○新型コロナウイルス感染症の影響もあり、正しい手洗いやマスクの着用が自分の命を守ることに繋がっていることを子ども達が自分ごととしてとらえている様子が見られた。

○これまで、各学年が性教育の活動について単発に終わる傾向があったが、性教育の指導計画を教師間で再度共通理解し共有したことで、道徳や他教科との関連を意識した指導を行うことができた。

○指導計画を明確にしたことでより組織的で系統性をもった性教育に取り組めるようになった。

〈課題〉

●5年生では「生命の誕生」について、グループごとに分かれ調べたことを発表する取り組みを行ったが、自学年の発表のみで終わってしまった。学習したことの発表を他学年に向けて発表したり、子ども同士で学び合えるよう工夫したりするなど学校全体を巻き込んだ取り組みにしていくことが今後の課題である。

●新型コロナウイルス感染症の影響により避難訓練などの学校行事が中止や縮小になってしまったため、学校の教育活動全体を通して関連づけることが難しかった。

●1・2・6年生で行った講演会や4年生の「育ちゆく体とわたし」など保護者への参観が新型コロナウイルス感染症の影響で実施することができなかった。これからの子どもたちの成長に関わる授業の参観は保護者と連携・共有ができ、子どものみでなく家庭や地域への啓発も期待できるので今後、更に取り組んでいきたい。



【 4年生 育ちゆく体とわたし（おとなの体になるじゅんぴ2） 】

養護教諭をゲストティーチャーとして、体の変化について詳しく指導を行った。

○学習指導案

4 学年 2 組 保健体育科 学習指導案

1 単元名「育ちゆく体とわたし」

2 本時の指導 (3/4) おとなの体になるじゅんぴ(2)

(1) 本時の目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
思春期には、初経、精通、変声、発毛が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	体の発育・発達について、自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、体をよりよく発育・発達させるための方法を考え、学習カードに書いたり、友だちに伝えたりしている。	体の発育・発達について、課題の解決に向けての話し合いや発表等の学習や教科書や資料などを調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。

(2) 展開

時配	学習活動と内容	○指導・支援 ◇評価	資料
5分	1. 前時の学習を振り返る。T1 (おとなへのからだの外的変化) ・ひげがはえる ・声が低くなる ・むねがふくらむ ・にきびができる 2. 思春期の男女の体に変化が起こるしくみを知る。T2	○思春期におこる体の外的変化について確認する。 ○思春期におこる体の変化や時期は、人それぞれ異なるが、誰にでもおこる変化であることを確認する。	
	思春期には、体の中ではどのような変化がおこるのだろうか。		
10分	3. 一つの命が生まれる確率を予想する。 4. 小4くらいから命を産むための準備(体の変化)が始まることを知る。 ①脳の一部から、ホルモンを出すように命令がでる。 ②ホルモンが出で、体に変化が起こる。 ③ホルモンは血液によって全身に運ばれる。ごくわずかの量で体にさまざまな変化を起こす。	○児童の予想を聞き、一億円の宝くじが百万回連続で当たることに匹敵することを伝える。 ○内臓は生きていくために大切な役割があることをとらえさせる。 ○内性器は、新しい命を作る働きがあり、思春期になると、脳からでる「ホルモン」によって、大人への準備が始まることを伝える。	ワークシート

<p>1 5 分</p>	<p>5. これから自分たちの体の中で起こる変化に気づく。</p> <p>〈女子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称・位置・働きについて知る。 <p>子宮：赤ちゃんの育つところ 卵巣：卵子ができるところ 卵子：赤ちゃんのもと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月経のしくみと初経の意味を知る。 <p>月経：赤ちゃんを産むための準備 初経：初めての月経</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初経はいつ始まるのか <p>〈男子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称・位置・働きについて知る。 <p>精巣：精子ができるところ 精子：赤ちゃんのもと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・射精のしくみと精通の意味を知る。 <p>精通：初めての射精</p> <p>6. 思春期の心の変化にも気づく。</p>	<p>○赤ちゃんが生まれるまでにいたところはどこか考えさせる。</p> <p>○実は男の子にも赤ちゃんのもとがあることを知らせる。</p> <p>○卵子の大きさを実際に感じ取らせるために、黒い画用紙に小さな穴を開けたものを1人1枚配る。</p> <p>○月経や射精の仕組みを、図を見せながら説明する。</p> <p>○男女の内性器のしくみや働きは異なるが、生命を作り出すための大切な働きであることを理解させる。</p> <p>○初経は4年生～6年生、精通は中学一年生で起こる人が多いことがわかる。</p> <p>○男女差や個人差があることがわかる。</p> <p>○おとなになるための大切な準備であることを理解させ、初経や精通を肯定的にとらえさせる。</p> <p>◇ 思春期には、初経、精通、変声、発毛が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。(知識・技能)</p>	<p>卵 子 の 大 き さ</p>
<p>思春期には、体つきが変化し、男子には精通が、女子には初経が起こる。また、異性への関心も芽生えるなど心も変化する。</p>			
<p>8 分 7 分</p>	<p>7. まとめ T1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体や心に起こる変化について、学んだこと、知りたいことをワークシートに記入する。 	<p>○心もおとなに近づいていることに触れ、次回の授業につなげる。</p> <p>◇体の発育・発達について、自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、体をよりよく発育・発達させるための方法を考え、学習カードに書いている。(思考・判断・表現)</p> <p>○心配なことがあったら、一人で抱え込まず、周りの信頼できる大人(親や先生)に相談することを伝える。</p>	

○授業の様子



0.1 mmの穴を開けた黒い画用紙を全員に配付。明るい場所にあて、やっと目視できる実際の卵子の大きさ(0.1 mm)に、「こんなに小さいの?!」と驚きの声があがっていた。

○感想

赤ちゃんが生まれるしくみをもっと詳しく知りたくなった。

いつも笑っていた陰茎と精巣の結びつきを知り、精子が命のもとだと分かってよかった。

男性と女性の違いを詳しく知ることができた。子供はすごく大切なものなのだと思う。もっと調べたり聞いたりしたい。

精通は痛いのかなあと思っていたけど、痛くないと言われて安心した。これからも体を大切にしていこうと思った。

月経や精通に個人差があると知って安心した。卵子が0.1 mmと聞いてびっくりした。体の

男性と女性には、それぞれ命のもとがあって、さらに同じ人間なのに違う作りなので驚いた。体の中にはいろんなものがあるのだなあと思っ

卵子や精子の小ささにびっくりした。自分の体がこんなに大切なのだと感じた。命を大切にしていきたい。

体のことについてよくわかった。体の中でいろんなことがおきていることを初めて知って驚いた。

体の成長には見た目だけでなく、体の中も成長に個人差があることがわかった。人と比べないようにしようと思った。

○授業を終えて

子どもたちは養護教諭から専門的な話を聞き、興味関心を持って授業に意欲的に参加していた。体の仕組みを知ることで知識だけでなく、自分の体・命を大切にしようとする意識が高まった。もっと知りたいという児童もいたので、5年生の発表を見学することができればよかった。

1年生「手洗いの大切さ」～まちっこプロジェクト～

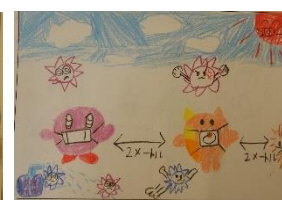


松戸市医師会の方に、感染症防止の仕方について学びました。手洗いの大切さ、どうして正しくマスクをつけることが大切なのか、換気をすることで感染のリスクは低くなることなどを学びました。自分だけではなく、家族や知り合いにも伝え、みんなで感染症対策に取り組むことが大切だと話を聞き、おうちの人に伝えたいことをポスターにまとめる活動をしました。

【アルコール消毒をしっかりと】

【換気をしよう】

【ソーシャルディスタンスをとろう】



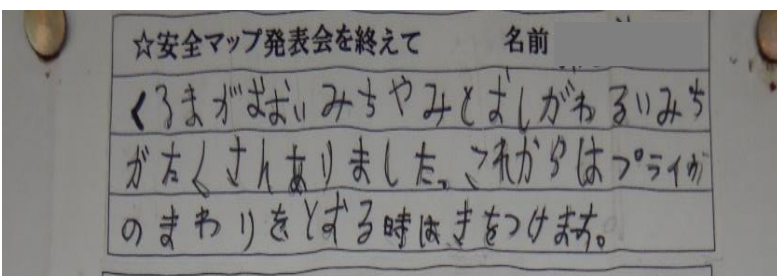
2年生「自分発見」～生活科～



生活科の学習で、自分が生まれた時の様子や小さかった頃の様子をおうちの人にインタビューしました。産まれた時と同じくらいの体重の人形を抱き、生まれた時の自分の重さや身長を実感しました。親に大切に育てられ、ここまで育ってきたことに気がつき、自分の命の大切さを改めて考えました。

3年生「学区の安心安全マップをつくろう」～総合～

自分達の学区を調べ、どのようなところが安全で、どのようなところが危険なのかを考えました。自分たちの安全を守るために気をつけなければいけないのかを考え安全マップにまとめる活動をしました。自分の命は自分で守ることの大切さを改めて感じる事ができました。



自分たちで調べまとめ発表する活動をしました。



大きくなったお母さんの体の中の模型

お母さんの体の重さを実感しました。約3キロの重さを常に抱えていることの大変さを実感しました。



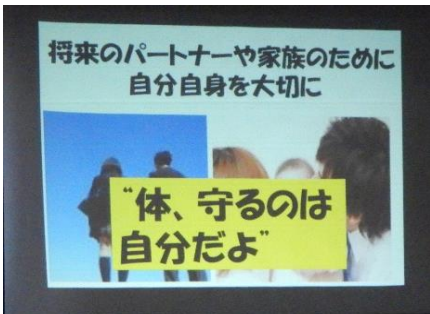
子宮の成長

子宮の様子	胎児の成長
2.5cm	心臓が動く
8cm	性別がわかる
12cm	胎動がわかる
23cm	胎動がわかる
33cm	胎動がわかる
39cm	胎動がわかる

胎児は、約38週間、母親の子宮の中で育つ。子宮の下の胎盤は、胎盤へその緒を通して母親から養分をもらい成長する。

胎児の成長、母親のお腹の中でどのように成長しながら、私たちが産まれてきたのかをまとめ発表しました。

6年「性教育についての講和」



ジェノ・ヴェスタ クリニック 八田真理子院長先生をお招きし、性についてお話をして頂きました。思春期の体の変化だけでなく、心の変化について学びました。また、自分の体をしっかりと知ること、そして、自分の体を守るのは自分であることがとても大切だということを知りました。

最初に、性とは心がいきいきとすることだという説明を受けて、なるほどと思った。自分は自分が生まれた時のことをあまり知らなかったの、両親にも聞いてみようと思った。最も印象に残っているのは、LGBTの説明だった。後からLGBTQというものがあつたが、BQの意味がわからなかつたので話を聞いて、性の多様性のことが少し伝わった気がした。

男女のちがいはある犯罪が実際にあったことにおどろきました。ゲームやスマホなどから簡単に犯罪に巻き込まれてしまい、とても身近に感じられました。犯罪に巻き込まれてしまえば、もう十分気づけたらいいと思った。女の子でも心が男の子の人もいるので差別などは絶対にあってはならないと思った。そして、私たちはあらかじめみんなに小さい精子と卵子から奇麗に誕生したことがすごいと思った。そこには助産師さんなどのたくさんの有る努力や苦労があったことがわかった。性についてのお話を聞いて、性はとても大事なことがわかりました。これから命の大切さについてしっかりと向き合っていきたいと思いました。

今回の講演では小生の大切さをこれから起きる体の変化についてよくわかることができた。男学生は妊娠させることのできる能力を持ち、女学生は妊娠することのできる能力を持っているから、女性のおなかの中に子供ができて生まれてくるということもわかりました。でもそのようなことを悪用した小生犯罪が起きていて、実際に中学3年生の女学生がインターネットで出会い、1年近くメールを合せて、実際に会って無理矢理小生行為をして、妊娠させた事件から、インターネットでもそういうこともあるということがわかりました。今回の講演で色々なことがわかりました。本当にありがとうございました。